



2年後の開通をめざし
日々変化するJR沿線



町が変わる

Vol.5

北陸新幹線金沢開業に向けて作業が進むなか、押野校下内の移り行く景色をご紹介します。今日は側道を取り上げました。



青少年健全育成協議会

「明るい笑顔地域の絆大切に」
今年も押野小学校5・6年生から標語を募集しました。

最優秀賞

挨拶で
あいさつで 笑顔絶やさぬ
五年 吉見 陸
六年 白米 健人

最優秀賞の標語は各町会に掲示されています。

優秀賞

六年	五年
白井 永井 渡辺 さくら 永井 さくら 示野 竜哉 島田 由紀子 岩崎 昭哉 後江 世咲 吉田 明子 内島 哲也 駿葉 奈耶 豊原 介	児山 岩越 渡辺 駿葉 島田 崇 島崎 昭哉 後江 世咲 吉田 哲也 内島 哲也 駿葉 奈耶 豊原 介

私が小学生のころ、実家に馬がいて、農繁期には私たち家族と共によく働いてくれました。北陸線方面から汽笛が聞こえると、馬は神經質なのかとても驚いて、田んぼの中を暴れ回り、困ったものでした。それ以外の季節は、馬の体力維持のために、乗馬して楽しみながら散歩させていました。この辺りは湿田が多く、膝の上まで埋まることも珍しくありませんでした。田植えの時は、足が泥からなかなか抜けず、大変だったことを覚えています。稻穂が垂れるころには、田んぼに蓮華草の種を



1972年に行われた農産物品評会



宮前徳七さん
(押野2丁目 在住)

むかし語り

蒔いて、翌年の稲作の肥料としたものです。春には田一面にピンクの花が咲き見事な風景でした。

旧押野村は「水田酪農」の発祥地として全国的に知られ、大変盛んでした。乳牛共進会全国大会で表彰を受ける人もいて、誇らしく思っています。

私は長年、農協に勤め、農業に深く関わってきましたが、区画整理事業以前の光景が今も懐かしく、脳裏に焼き付いています。



竹切りにチャレンジ

ミニ門松作り

十二月二十三日(日)

年末恒例となつたミニ門松作りは、約二十年続く校下の伝統行事である。今年は、幼児から大人まで三世代四十七名が参加し、手作り門松で我が家のお正月を飾つた。



吉岡歩未
二年

編集後記

今年度最後の編集で、これまでの館報が校下の皆様に良い物だつたのか気になる所です、今までつたのか気になります。今年度初めて広報のお手伝いをさせていただきましたが、校下の歴史を記録した大切な物と感じたりがいのある一年でした。また、校下の皆様には掲載記事等に関してご協力いただき大変ありがとうございました。

これからも、校下行事に積極的に参加し発展させて行きたいです。